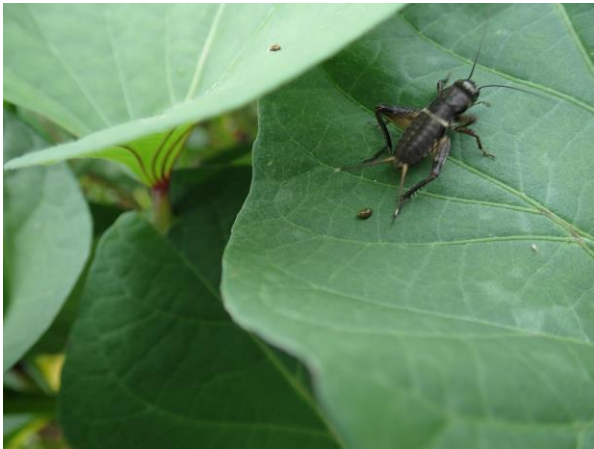
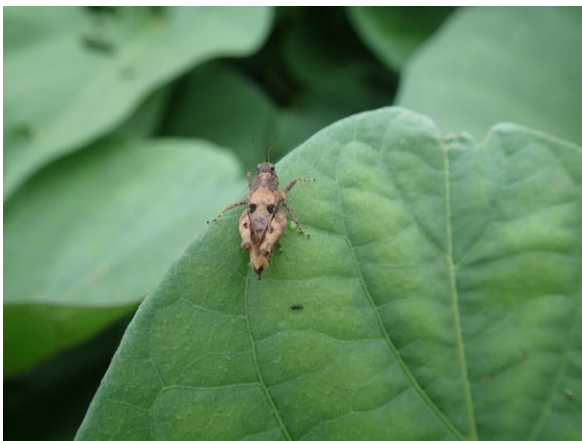


〈今、一瞬の生〉



小雨降る中、黙々と草取りをされていて、ふと顔を上げるとサツマイモの葉の上にはいろんな虫たちがいるのに気づいた。雨が降ったりやんだりの天気で、虫たちもなかなか動き回れなかったのだろう。ほんのわずかの止み間をぬって、表に出てきた感じだ。7月下旬、本来なら真夏の太陽がカンカンに照りつける頃だが、今年はまだまだ梅雨が明けず、肌寒い日もある。ひよっとしたら、濡れた体を温めに出てきたのかもしれない。お日様は出てないがつかの間の日光浴！かな？



しかし、“日光浴”なんてのんきなことを想像するのはお気楽な人間の考えること。虫たちの“今”は、明日をも知れぬ命がけの“今”であるに違いない。そんな虫たちを少し離れたところから虎視眈々と狙っているカマキリ、彼もまた“今”を必死に生きている。